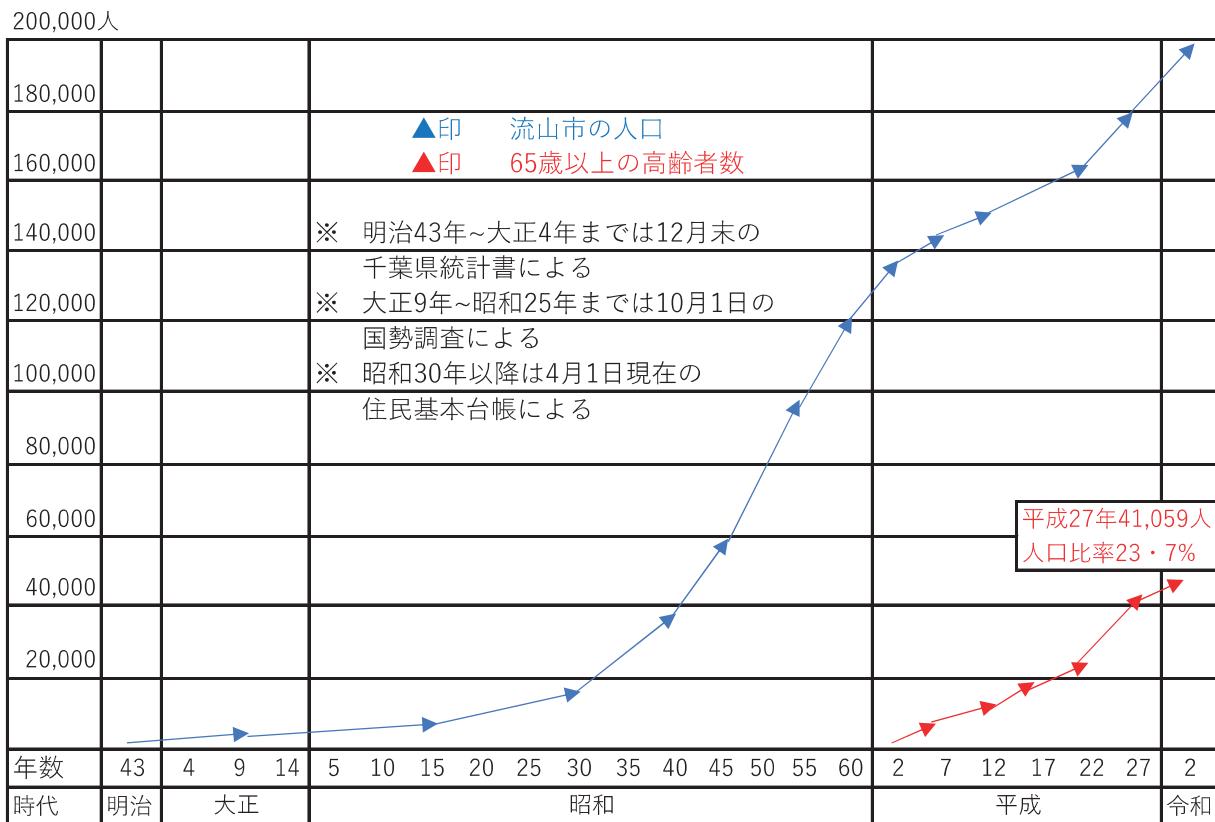


『流山市の人口推移とビリケン像』



ビリケン像

「招福、病気平癒、学業向上」

大正2年（1913）森田繁男氏（利根運河支配人）設置
場所 東武アーバンパークライン運河駅より
徒歩5分、利根運河沿い

ビリケン像の由来

第27代米国大統領、ウィリアム・タフトの愛称である「ビリー」に由来し「ケン」は小さいという意味。ビリーはお腹が大きく、足の裏に手が届かなくて足の裏を搔いてくれる人に福の神が宿ると言われている。このお話が世界中に広まり、日本には明治42年（1909）に伝わる。現在、大阪通天閣や箱根湯本駅、流山市などに設置されている。

『流山市略年表』

時代	西暦	事柄
旧石器	3万年前	若葉台遺跡、桐ヶ谷新田遺跡、大畔中ノ割遺跡などから石器が出土
縄文 草創期・早期 前期・中期 後期・晚期	1万6千年前	三輪野山遺跡群、こうのす台第Ⅳ遺跡などから土器・遺構が出土
		加町畠遺跡など。中野久木谷頭遺跡で大規模な 集落跡 が出土
		三輪野山、上新宿などから馬蹄形貝塚。江戸川台第Ⅰ遺跡など
弥生	紀元前300年	大畔中ノ割遺跡、加村台遺跡、下花輪第二遺跡など
古墳 前期 中期 後期	紀元後300年 400年 500年	三輪野山向原古墳（方墳）が造られ、東深井、大畔台に集落跡
		中野久木遺跡、桐ヶ谷新田遺跡、三輪野山八重塚遺跡など
		鰐ヶ崎三本松古墳、東深井古墳群、西深井五ノ割遺跡など
飛鳥	592～	「諸国をして牧地を定め牛馬を放たしむ」（『続日本紀』）
奈良	710～	富士見台第Ⅱ遺跡、東深井中ノ坪遺跡で製鉄炉と集落跡が出土。 万葉集が編纂され、葛飾早稻（野田～市川付近の稻作）の歌が載る
平安	927	律令制度の細則である「延喜式」が完成し、平安初期の国別祭神や神社名が記載され、葛飾郡内では意富比神社と茂侶神社が記される 各々、船橋大神宮と流山の三輪茂侶神社と推定されている
鎌倉	1287	美原の観音堂に阿弥陀一尊種子の板碑（流山最古）
室町	1470	前ヶ崎の花野井家に本土寺の過去帳と同記録の板碑
安土桃山	1590	豊臣秀吉が北条氏を滅ぼす。前ヶ崎、名都借、花輪、深井の各城が落城。徳川家康が関東に移封
	1591～1592	鰐ヶ崎の東福寺、桐ヶ谷の西円寺、三輪茂侶神社が家康から御朱印地を拝領。野々下村、谷津村、西深井村の検地
	1600頃	小金牧・佐倉牧が整備される
江戸	1626	流山村、木村の検地
	1641	関宿から金杉間の河川を開削（江戸川改修の着工）
	1649～1708	青田新田、駒木新田、十太夫新田の検地 西深井村、鰐ヶ崎村、東深井村、加村、中曾根下谷新田の検地
	1725	8代将軍吉宗が小金牧で御鹿狩を行う
	1730	平方原新田、初石新田、大畔新田、青駒新田、長野新田の検地
	1776	10代将軍家治が日光御社参。警護の大名は日光東往還を利用。 東往還は南柏駅付近から東深井を経て関宿に、利根川を渡り日光へ
	1781	流山村他11ヶ村が坂川の掘継願いを提出
	1782	5代目秋元三左衛門が天晴白みりんの釀造に成功
	1804	小林一茶と秋元双樹（三左衛門俳号）が始めて連句を行う
	1836	坂川を堀継ぎ江戸川との合流点を国府台まで延長
	1849	12代将軍家慶が最後の御鹿狩を小金牧で行う
	1867	大政奉還。王政復古
	1868	戊辰戦争勃発。大久保大和（元新選組局長・近藤勇）流山で捕縛

和暦	西暦	事柄
明治 元 6 21 22	1868	市内各村は下総知県事の支配下に。1869年葛飾県、1871年印旛県に引き継がれる
	1873	印旛県、木更津県が合併して千葉県となる
	1888	利根運河開削開始（全長8km、水深1.6m、2年後に完成、昭和16年まで利用される）
	1889	町村制の施行 により、流山市域は1町2村になる 流山町（旧村名：三輪野山、加、流山、西平井、鰐ヶ崎、木） 八木村（同：青田新田、駒木新田、十太夫新田、初石新田、大畔新田、駒木市野谷、野々下、長崎、古間木、前平井、後平井、思井、中、芝崎、前ヶ崎名都借、向小金新田） 新川村（同：深井新田、西深井、東深井、平方村新田、平方、平方原新田、北、南中野久木、上新宿、上新宿新田、小屋、桐ヶ谷、谷、上貝塚、下花輪、大畔） 流山尋常小学校が開校（現流山小）。新川尋常小学校が開校（現新川小）
	1896	日本鉄道土浦線開通（現JR常磐線）
	1900	八木第一尋常小学校開校（現八木南小）、八木第二尋常小学校開校（現八木北小）
	1911	県営軽便鉄道野田線開通（柏~野田）（現東武アーバンパークライン）
	1916	流山軽便鉄道開通（流山~馬橋）（現流鉄流山線）
	1920	『流山町誌』発行（岩田僖助編）
	1923	『千葉県東葛飾郡誌』発行
	1925	陸軍馬糧倉庫が流山9丁目に移転（昭和21年~27年国鉄の鉄道用品庫となる）
昭和10 12 16 20 22 26 30 40 42 44 45 48	1935	旧流山橋開通
	1937	日中戦争始まる
	1941	太平洋戦争始まる
	1945	ポツダム宣言受諾。終戦
	1947	流山中学校、八木中学校、新川中学校が開校
	1951	流山町、八木村、新川村が合併して江戸川町となり、翌年、流山町に改称
	1955	市内各所で土地区画整理事業が進む
	1965	流山橋が架け替えられる
	1967	1月1日、 市制施行 し流山市となる
	1969	流山市文化会館が開館
	1970	流山市文化協会が発足する
	1973	武藏野線開通（南流山駅開業）
54 60	1979	市の人口が10万人を超える
	1985	常磐自動車道開通
平成 元 17 29	1989	新元号になる。つくばエクスプレス線に伴う大規模な土地区画整理事業開始
	2005	つくばエクスプレス線が開通。若年層の人口増加が顕著になる
	2017	流山市制50周年記念式典が開催される。市の人口が18万人に達する
令和 元	2019	新元号となる。第126代徳仁天皇即位